

# 介護労働者養成機関修了者の追跡調査に関する研究

平成 11 年度報告書

介護労働は、看護婦・家政婦紹介所等の登録労働者やボランティアによって担われてきたが、介護保険制度の施行により介護労働者の育成・確保が重要な課題となっている。

本研究は、介護労働者養成機関を平成 11 年度に修了する者を対象に、3 カ年にわたり追跡調査をすることにより、就労経路、労働移動、離転職理由等の実態を調査し、介護労働力の確保及び介護労働者の雇用や就労条件等の改善に資するものとした。

## 研究委員会メンバー

(主 査)安 藤 孝 敏	横浜国立大学教育人間科学部 助教授
(委 員)朝 日 雅 也	埼玉県立大学保健医療福祉学部 講師
野 口 一 重	医療経済研究・ 社会保険福祉協会 医療経済研究機構 研究副部長
林 秀 一	林事務所 代表
松 原 由 美	(株)明治生命 F S 研究所 研究員
(事務局)中 島 徹	(財)雇用開発センター 常務理事
川 上 方 満	(財)雇用開発センター 研究調査部長
田 島 博 実	(財)雇用開発センター 研究調査課長

## 目 次

はじめに

第 1 章 調査の背景と目的

第 2 章 介護労働を取り巻く環境

第 3 章 調査概要

第 4 章 調査結果

第 5 章 考察

第 6 章 平成 12 年度の調査計画

資料編

## 調査の対象及び内容

(1) 「介護労働者養成機関等修了者の介護労働への就労意向調査」

調査時期 : 平成 11 年 9 月～平成 12 年 3 月

調査対象 : ホームヘルパー及び介護福祉士を養成している職業能力開発施設、民間事業者、学校、公社、社会福祉協議会を平成 11 年度に修了する 2,317 名

回 収 数 : 1,256 名 (有効回収率 : 54.2%)

調査内容 : ①基本的属性、②修了・卒業後の高齢者を介護する仕事への就労の意志、③

高齢者を介護する仕事への意識

(2) ヒアリング調査

調査対象 : 養成機関5カ所

調査内容 : アンケート票作成にあたっての意見収集